

美しが丘

札幌市立美しが丘小学校

学校だより

令和8年9月30日
学力調査結果臨時号



全国学力・学習状況調査の結果について

9月30日で前期が終了しました。子どもたちは、一人一人が学習や行事に一生懸命に取り組み、着実に成長しています。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

さて、4月に実施された「全国学力・学習状況調査」（6年生対象）の本校の結果概要をお知らせいたします。調査を受けた6年生児童の保護者の皆様には、正誤等が記された個人票を個人懇談時に配付いたします。本校においては今回の調査結果を6年生のみの課題としてではなく、本校で6年間学習してきた児童の姿として「学校全体の課題」とであると受け止め、今後全学年を通して改善を進めていきたいと考えております。今回の結果をもとに、授業において指導方法を工夫することや、よりきめ細かく家庭・地域と一体となり取り組んでいくことを本校の課題として、引き続き教育改善を図って参りたいと考えております。保護者・地域の皆様には、なお一層のお力添えをお願い申し上げます。

なお、今回の調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

～全国学力・学習状況調査の結果～

【 児童質問紙調査 】

() 内は肯定的な意見の割合

【全国と比較して肯定的な回答の割合が高いもの】

- | | |
|--|-------------------|
| ○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。 | (本校93.4% 全国82.7%) |
| ○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。 | (本校97.8% 全国90.7%) |
| ○学校の勉強のことについて、週に1回以上、親や家族と話をしている。 | (本校97.8% 全国90.7%) |
| ○自分には、良いところがあると思う。 | (本校91.1% 全国85.6%) |
| ○将来の夢や目標をもっている。 | (本校88.9% 全国81.8%) |
| ○人が困っているときは、進んで助けている。 | (本校100% 全国92.7%) |
| ○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。 | (本校80% 全国70.6%) |
| ○人の役にたつ人間になりたいと思う。 | (本校97.8% 全国95.8%) |
| ○普段の生活の中で、幸せなきもちになることがよくある。 | (本校97.8% 全国92.5%) |
| ○分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分の学び方を考え、工夫している。 | (本校82.2% 全国79.4%) |
| ○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。 | (本校86.6% 全国80.1%) |
| ○PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができると思う。 | (本校91.1% 全国79.1%) |

【全国と比較して肯定的な回答の割合が低いもの】

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ○朝食を毎日食べていますか。 | (本校91.2% 全国93.3%) |
| ○自分と違う意見について考えるのは楽しい。 | (本校68.9% 全国77.9%) |
| ○国語の勉強は得意ですか。 | (本校53.3% 全国60.4%) |
| ○算数の勉強は得意ですか。 | (本校44.4% 全国60.1%) |

札幌市立美しが丘小学校

電話 884-9860 (7:40~17:30) E-Mail utsukushigaoka-e@sapporo-c.ed.jp

FAX 884-0498

HP <https://www.utsukushigaoka-e.sapporo-c.ed.jp/>



【 国 語 】

本校の概要

今回の調査における課題

今後の方向性

【内容】

□知識及び技能

- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」
全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

- ・「情報の扱い方に関する事項」
全国平均を下回っている

□思考力、判断力、表現力

- ・「話すこと・聞くこと」
全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

- ・「書くこと」
全国平均を上回っている。

- ・「読むこと」
全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

- ◆比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。

- ◆情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うこと。

- ◆相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。

- ◆引用したり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすること。

- ◆目的に応じて、必要な情報を見付けること。

- 実際に話したり聞いたりする中で触れてきた、比喩や反復、倒置などの表現の工夫についてまとめて整理する学習活動の充実。

- 目的や意図を明確にし、複数の叙述や語句の関係を図示などにより整理することを通して、考えをまとめる学習活動の充実。

- 具体的な相手や目的を意識して、自分が伝えたいことの中に中心が明確になるように理由や事例などを挙げ、筋道を立てた構成を検討する学習活動の充実。

- 引用する目的を明確にし、原文を正確に引用したり、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にして、区別しながら書き表したりする学習活動の充実。

- 読む目的を明確にし、筆者の考えや文章の中で挙げられている事例、読み手自身の経験など、複数の情報を取捨選択・整理・再構成しながら考える学習活動の充実。

【 算 数 】

本校の概要

今回の調査における課題

今後の方向性

【領域】

「数と計算」

- ・全国平均を下回っている。

「図形」

- ・全国平均を下回っている。

「測定」

- ・全国平均を下回っている。

「変化と関係」

- ・全国平均を下回っている。

「データの活用」

- ・全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。

◆整数と小数の減法の計算をすること。

◆立方体の体積の計算による求め方について理解すること。

◆示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めること。

◆百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。

◆示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できる。

○小数の加法及び減法の計算について、 0.01 のいくつ分と捉えるなどして、整数と同じ原理・手順で計算できることを理解できるようにする学習活動の充実。

○図形を構成する要素に着目し、立方体や直方体の体積が、縦・横・高さの長さを使って計算で求められることを理解できるようにする学習活動の充実。

○示された情報を基に、全体と部分の関係に着目して、条件に合う数量を求めることができるようにする学習活動の充実。

○問題場面から、基準量・比較量・割合の関係を捉えることができるようにする学習活動の充実。その際、何が基準量で何が比較量にあたるのかを的確に把握し、計算に結び付けるようにすることが大切。

○資料を分類整理する際に、落ちや重なりが無いかなど調べたり、資料に当たって誤りが無いかなど確かめたりする学習活動の充実。その際、各表の数値の妥当性を確認する活動を取り入れることが大切。